



“お宝”はわたしたちがいただき！（伊良湖海水浴場）

7月8日 お待ちかね！ 海の季節到来

市内の3海水浴場（白谷、仁崎、伊良湖）で海開きを行い、さまざまなイベントを用意した各海水浴場は、初日から多くの家族連れらでにぎわいました。「宝探し大会」を開いた伊良湖海水浴場には“お宝”目当てに多くの子どもたちが集まり、夏の1日を楽しんでいました。とにかく水がきれいな市内の海水浴場。週末にはライフセーバーを配置するなど、万一の水の事故にも備えています。シーズンは8月31日まで。皆さん、ぜひお出かけください。



街頭キャンペーンを行った交通少年団（田原警察署前）

7月15日 交通ルールは みんなの常識

夏の交通安全県民運動に合わせた交通安全街頭キャンペーンを実施しました。7月10日（月）には、市役所渥美支所前の国道で地域交通安全活動推進委員・交通安全協会田原支部などが、7月15日（土）には、田原警察署前の国道で田原市交通少年団がドライバーに啓発グッズを手渡し、安全運転を呼びかけました。参加した皆さんは「交通事故の起こらない安全なまちにしたい」と願いを込め、キャンペーンを行いました。



ふだんは怖い波だけど、乗れたときの気分は最高！

7月14日 地元の自慢の海を知ろう！

赤羽根小学校の4～6年生とその保護者が、赤羽根西海岸でボディボード体験学習を行いました。これは、児童に地元の海のすばらしさを知ってもらおうと、市サーフィン協会の協力を得て、7年前から実施しているものです。保護者に見守られながら波乗り挑んだ児童たちは、海の「楽しさ」や「厳しさ」を身をもって体験することができました。そして、海を満喫した後は、地元の自慢である海を守ろうと、海岸清掃にも汗を流しました。



南極の氷に触れうれしそうな児童たち

7月12日 南極から「氷」の贈り物

神戸小学校に約5kgの南極の氷が届きました。海上自衛隊の砕氷船「しらせ」が今年4月に南極の氷山から持ち帰り、自衛隊愛知地方連絡部が応募のあった県内の小学校に提供しました。この氷は2～4万年前に降った雪が圧縮され、中には小さな気泡が多く含まれた白色。児童らは、氷の感触を確かめたり、気泡がパチパチとはじける音を聞いたり、南極からの冷たい贈り物を前に驚きや喜びの声を上げていました。